

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2003-279968(P2003-279968A)

【公開日】平成15年10月2日(2003.10.2)

【出願番号】特願2002-84296(P2002-84296)

【国際特許分類第7版】

G 02 F 1/1335

G 02 B 5/30

G 02 F 1/13357

G 02 F 1/13363

【F I】

G 02 F 1/1335 5 2 0

G 02 F 1/1335 5 0 0

G 02 B 5/30

G 02 F 1/13357

G 02 F 1/13363

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月15日(2005.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1電極が形成された第1基板と、前記第1電極と対向する面側に第2電極が形成された第2基板と、前記第1基板と前記第2基板との間に挟持された液晶層とを備える液晶セルを有し、前記第1基板の前記液晶層側に、所定の回転方向を持つ楕円偏光若しくは円偏光のうちの一部を反射させ、一部を透過させる第1コレステリック液晶層を有する半透過反射層が備えられた液晶表示装置であって、前記半透過反射層内には、前記第1電極と前記第2電極とが対向する画素領域の境界領域に対応して遮光膜が設けられ、前記遮光膜を含む前記半透過反射層と前記第1基板の間に第2コレステリック液晶層が設けられていることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項2】

前記液晶層は、入射した楕円偏光若しくは円偏光の回転方向を反転させることができるものを特徴とする請求項1に記載の液晶表示装置。

【請求項3】

前記液晶セルに対して前記第1基板側から光を入射させる照明装置が備えられたことを特徴とする請求項1又は2に記載の液晶表示装置。

【請求項4】

前記第2基板の外面側および前記第1基板の外面側には楕円偏光入射手段が設けられ、前記楕円偏光入射手段が一方向の直線偏光を透過する偏光板と該偏光板を透過した直線偏光を楕円偏光に変換する位相差板とを有することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の液晶表示装置。

【請求項5】

前記位相差板が1/4波長板であることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の液晶表示装置。

**【請求項 6】**

前記第1コレステリック液晶層は、前記画素領域毎に所定の色光の一部を反射させ、一部を透過させるとともに、前記第2コレステリック液晶層は、前記画素領域毎に前記所定の色光の補色となる色光を反射可能であることを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の液晶表示装置。

**【請求項 7】**

前記半透過反射層の第1基板側において、異なる色光を反射可能な2以上の前記第2コレステリック液晶層が接していることを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載の液晶表示装置。

**【請求項 8】**

請求項1乃至7のいずれか一項に記載の液晶表示装置を備えたことを特徴とする電子機器。